

<スクールアルバム>

<前期終業式>

- ・ダイヤモンドチャペルで礼拝
- ・プロの音楽家によるコンサート♪



赤い羽共同募金を呼びかけました
(中高 HOPE)



<中高 HOPE 交流会>

普段はサッカーで楽しむことが多いですが、今回は野球。カキーン！



避難訓練では消火器の練習も。炎めがけてビュ〜ン



<提携校やダ ICS とのオンライン交流会>

- ・中高 HOPE は韓国語の暗唱聖句や、日本の文化などを発表
- ・小学部は日本猿や昔話について発表



<子どもの心のケア講演会>

岩上真歩子氏をお迎えし、「もがいてもいい、そこから成長！」と、大変励まされました。多くのご参加ありがとうございました。



お願い・ご報告

- 10月のスクールの活動、行事等は、祝福の中で行われました。お祈り、ご協力感谢您します。
- 10月に体験入学していた、IMさん(小1)が、11月より正式に入学しました。よろしくお祈りします。Mさんとご家族の祝福をお祈りしましょう。
- スクール支援のために毎週土曜日、ダイヤモンドチャペルでお菓子作りをしています。お菓子作りに興味ある方、お手伝いしていただける方は担任または平野までご連絡ください。ご都合の良い時だけでも結構です。ご協力いただければ感謝です。

今月のみことば(暗唱聖句)

私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださいました。」エペソ人への手紙 2:10

“For we are his workmanship, created in Christ Jesus for good works, which God afore prepared that we should walk in them.” Ephesians 2:10

英語でも覚えましょう。是非ご家庭でもお子さまを励ましてあげてください。

祈禱課題

1. スクール関係者のすべてのご家庭に恵みが溢れますように。
2. スタッフが聖霊の助けをいただき、愛と喜びをもって指導できますように。
3. スクールの学習・生活環境が整えられますように。
4. 高3生、HOPE生の次の進路が主にあって導かれますように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 11月号

2022.Nov. 1

VOI.185

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「神様の価値のうちに生きる」

中学部副担任 田口 信

夏も過ぎ去り、少し肌寒い季節になってきました。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

私は今年で、のあでの働きも3年目となり、夏は暑い、冬は寒いというあでの学校生活にも慣れてきた様な気がします。神様の愛を沢山受けて育つ子供達に元気をもらい、この寒い冬の季節も彼らと共に楽しんで過ごしたいと願っております。

さて今回私が皆さんにお伝えしたい内容のテーマは、『神様の価値のうちに生きる』です。

私が本郷台キリスト教会のマーティ宣教師と話した時、彼は一つの大きな円とその中に小さな円を描いて、神様と私達の、自分自身の見方についてお話しをしてくれました。創造主でおられる神様は私達一人一人を完璧に創造してくださいました。そんな私達の全てを知っておられる神様から見た『私達の価値』は一つの大きな円で表されます。私達は母の胎内から生まれてくる時、その価値が備わった状態で生まれてくるのです。しかし私達は幼少期を過ごし大人へと育っていく中、多くの人は自分と周りを比べ、容姿や能力、一人一人の持っている特性などから自分自身の価値を判断したり、周りから傷をつけられる事で神様の見方とは異なる、誤った情報を自身の価値として取り入れていきます。そんな時私達の理解する『自分の価値』は小さくされ、やがて小さな円として表されます。私自身もそのように影響された一人です。神様の存在は知っていたものの、幼少期から私は自分と周りを比べ、劣っていると判断すれば努力をし、また誰かと比べ合う、そんな事を繰り返しては自分自身を否定するという状態でした。自分は何をやっても上手くいかないと感じ込んでいました。こうして私に与えられているはずの『神様の価値』は狭められたように感じ、いつのまにか小さなものへと変えられて行きました。ですから私達が『神様の価値』を見失い、それが狭められて生きていく事は、自身の存在価値を否定していく事にも繋がる危険な歩みだと感じます。その様な生き方ではなく、神様が与えられている価値を知り、祝福されて生きていく為には、『神様の価値のうちに生きる』しかないのだと思います。

私は17歳の頃、ハワイでのDTS(弟子訓練)を通して神様の愛を知り、神様との関係を受け入れて歩いていく事で、徐々にそれまでの嘘や偽りから解放され、自分に与えられた価値を確認し覚えながら歩む事が出来ています。しかし未だに過去の経験や傷の思い出などから、その価値が見えにくく感じる事もあります。この事から、子供達一人一人がどの様な環境やコミュニティの中で幼少期を過ごすか、何に影響されて育つか、という事がとても重要であると同時に、子供の成長に携わる一人一人が大きな役割を担っていると感じます。

私自身、学生時代を公立の学校で過ごし、この3年間、のあの教員として働く中で、大きく異なると感じている事は、学校が神様の愛を土台として、私達に与えられる『神様の価値』を子供達と共有できる、という事だと思っています。この学校に与えられているみ言葉、『私の目には高価で尊い、私はあなたを愛している』を生徒が知るのはもちろんですが、その大切さを知った一人一人の先生達が子供達と関わり、毎日の祈りや聖書のみ言葉に触れながら育まれた生徒たちが、互いに愛し合い、良い影響を与え合いながら生活出来る環境は、とても祝福で感謝な事だと実感しています。またその中で育つ子供達一人一人が、自分自身の価値を知り、『神様の価値のうちに生きる』事を選びとっていく時、その先の未来に大きな祝福があるのだと思います。実際に子供達から、「のあに来てよかった」「毎日が楽しい」という言葉を聞く時、その言葉には、神様の祝福や喜びを感じているというメッセージがあるように感じます。そして私自身も子供との、あでの学校生活を通し、その様に感じられている一人です。

この子供達の大切な歩みに関わっている事を強く覚えて、私自身も『神様の価値のうちに生きる』事を大切に、子供達に良いものを流せる存在であるように祈り励んでいきたいと思っています。

わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。 イザヤ 43章 4節

11月のカレンダー

日		火	水
		1日	2日 スポーツデイ（雨天：通常授業） 小学部礼拝（1限） I先生誕生日
6日	7日 社会科見学 （横須賀方面 中学部・HOPE）	8日 W先生誕生日	9日 学部別礼拝（1限） ハンガーゼロ特別授業 （小1～4：9時50分～10時30分） （小5～HOPE：10時40分～11時50分）
13日	14日	15日	16日 合同礼拝
Lさん誕生日			
20日	21日	22日	23日 勤労感謝の日
27日	28日	29日	30日 合同礼拝・生徒祝福式（1限）

- ・ 2日（水）、保健委員会主催でスポーツデイを開催します。1限は、小学生は礼拝、中高H生は準備、2限から7限まで、思いっきりスポーツを楽しみます。保護者・スタッフの参加も歓迎します。祝福をお祈りください。
- ・ 7日（月）1～4限、中学生とHOPE生は、三笠公園（横須賀）に社会科見学に行きます。日露戦争中に実際に使われていた展示物を見学し、歴史を身近に感じて考えを深めたいと思います。
- ・ 9日（水）、国連が制定した「世界食料デー」（10月16日）の取組みとして、ハンガーゼロ（日本国際飢餓対策機構）による特別授業を実施します。世界の飢餓や貧困について考える時としたいと思います。小1～4、小5～中高HOPEに分けて実施します。有意義な学びとなるようお祈りください。
- ・ 19日（土）10時～11時30分、実行委員会主催で、のあIS文化祭を開催します。ご家族の皆さまの参加やお手伝いをお願いします。バザーの献品も募集しています。当日は通常登校、13時下校です。スクールバスもあります。また、前日の午後は、準備日にします。詳細は後日お知らせします。ご協力をお願いします。
- ・ 24日（木）～30日（水）は、後期中間テスト週間（中高等部）です。生徒の皆さんは学習した内容をもう一度確認し、テストに臨んでください。ご家庭におかれましては、励ましをお願いします。
- ・ 30日（水）1限、合同礼拝の中で、生徒祝福式を行います。一人ひとり牧会者にお祈りしていただきます。
- ・ 保護者、スタッフ向けバイブルタイムは、10(木)、17(木)、24(木)の3回です。13時15分からエスペランサの小屋にて行います。

木	金	土
3日 文化の日	4日 委員会活動	5日
10日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	11日 クラブ活動 Rさん、I先生誕生日	12日
17日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	18日 文化祭前日準備(5、6限)	19日 のあIS文化祭 (10時~11時30分) *通常登校、13時下校
24日 ← 後期中間テスト週間(中高等部)	25日 クラブ活動	26日
保護者、スタッフ向けバイブルタイム		



子育てnote

一般的に、日本の家庭には神棚があって、毎日、ご飯であったり、供え物がなされています。日本人には、先祖を神とする習性があるので、そうしているのですが、実際には、私たちの先祖は人であって、神ではありません。家庭の雰囲気支配するのは、親たちです。親たちの心に、平安や喜び、愛と希望が存在しなければ、家庭には不安や争いが、渦巻くことになります。

そのためにお勧めしたいのは、神棚にお供え物をする代わりに、毎日の「祈りの祭壇を築く」ことです。なぜ祭壇というのでしょうか。その祈りの場所には、まず私たちの「自我」という供え物が捧げられなければならないからです。その私たちの、「自我」という供え物を、受け止めてくれる場所が、十字架です。

7月号の子育てノートにおいて、私たちの自我こそが、家庭のメンバーの互いの間に、壁を築かせてしまうものであることを見ました。その自我を、私たちが祭壇を立てるたびに、十字架につけて、死に至らせるのです。そして先祖に感謝し、また家族の一人ひとりのために、祈るのです。その時に、私たちの自我を引き受けて、私たちの自我と共に死んでくださった主イエスに、感謝してみてください。

私たちの心に、真の神からの、愛と平安が流れます。その愛の心によって、子供達と会話し、接してください。家庭に必要なのは、厳しさではなく、優しさです。子供たちを叱るときも、感情によってではなく、愛によって叱ってください。その愛は流れます。彼らの心に流れ込んでいくのです。語るときに、脅すのではなく、「親切な心」で語り、彼らの語る言葉を、「親切に(理解して)」受け止めてあげてください。子育ての鍵は、彼らに、礼儀と節度を、いろいろな場面で教えていってあげることです。彼らの心は、白紙であって、その心に、何が礼儀であって、どのように接し、どのように関係を保つのかを、書き記されていく必要があります。

校長 月井博

